

【理事会報告】

◎新役職者について

現本部理事任期満了に伴い、次期本部理事候補が各支部において選出されました。選挙へのご協力ありがとうございました。次期本部理事は、日本英文学会定款の定めるところに従い、2023年5月に開催される評議員会での承認を経たうえで、正式に就任することになります。任期は2025年の理事会・評議員会までの2年です。

次期本部理事候補は以下の10名の方々です。

【北海道支部】	奥 聡(北海道大学)
【東北支部】	福士 航(東北学院大学)
【関東支部】	阿部 公彦(東京大学)
	佐藤 和哉(日本女子大学)
	武田 将明(東京大学)
【中部支部】	杉野 健太郎(信州大学)
【関西支部】	里内 克巳(大阪大学)
	竹村 はるみ(立命館大学)
【中国四国支部】	太田 聡(山口大学)
【九州支部】	竹内 勝徳(鹿児島大学)

佐藤和哉理事候補は評議員を途中退任し、その後任には諏訪部浩一氏(東京大学)が就任します。定款の定めるところに従い、諏訪部氏は2月開催の評議員選定委員会にて選出されます。任期は佐藤評議員の残任期間(2025年5月の評議員会まで)となります。

◎新会長の選出

本部理事候補が各支部より推薦され、理事候補内での投票の結果、次期の法人代表・新会長を関東支部選出の阿部公彦氏と内定いたしました。英文学会定款の定めるところに従い、阿部氏の会長就任は2023年5月に開催される評議員会での承認を経たうえで正式

決定します。任期は2025年5月の理事会・評議員会までの2年です。

◎臨時理事会

2023年1月7日(土)、日本英文学会事務局を会議本部とするZoomミーティングにて、臨時理事会が開催されました。主要な議題は以下の通りです。

1. 編集委員会アメリカ文学分野委員の増員措置
アメリカ文学分野に関して、現在の投稿状況を踏まえて3名の増員を行う(今後の改選委員数の均衡を考慮し2023年度に2名、2024年度に1名の増員)が決定した。また、今後は各分野とも投稿状況に見合った委員数の見直しと適正化を適宜図っていくことも確認された。
2. 全国大会開催支部ローテーション
2022年度5月理事会より継続審議になっていた全国大会の開催支部のローテーション案が再審議され、2023年度～2033年度の11年間は関東支部4回、関西支部2回、それ以外の支部は1回ずつの開催とし、2034年度～2043年度の10年間は上記ローテーションを踏まえた上で東北支部での開催はなしとすることが決定した。

◎第95回全国大会の開催形態について

第95回全国大会は、2023年5月20日(土)、21日(日)の両日において関東学院大学関内キャンパス(神奈川県横浜市)にて開催されます。この度、理事会審議を経てハイフレックス方式(対面とZoomによるライブ配信)で実施することが決定いたしました。対面もしくはオンライン上にて、多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。詳細は学会ウェブサイトおよびメーリングリストにて

お知らせする予定です。メーリングリストへのご登録がお済みでない方は学会ウェブサイトよりお手続きをお願いいたします。

◎全国大会期間中における託児施設の利用について

開催校、開催支部のご尽力により、第95回全国大会期間中には、以下のとおり託児施設が開設され、英文学会会員の希望者専用にご利用いただけます。

日時：2023年5月20日(土)(11:00～18:00)

5月21日(日)(9:00～17:00)

場所：事前申込者には当日お知らせいたします。

お問い合わせ、ならびにご利用のお申し込みは、学会ウェブサイトの全国大会ページおよびメーリングリストにて後日ご案内いたします。

◎ハラスメント防止ガイドライン起草委員会について

2022年9月よりハラスメント防止ガイドライン起草委員会(発足当初の名称は「ハラスメント規定起草委員会」)が発足し、日本英文学会におけるハラスメント防止のためのガイドライン策定が進められています。委員は藤田佳也(酪農学園大学)、鈴木美津子(東北大学名誉教授)、高桑晴子(お茶の水女子大学)、本田安都子(福井大学)、水野眞理(京都大学名誉教授)、松浦美佐子(岡山商科大学)、後藤美映(福岡教育大学)の支部選出委員7氏と、大河内昌(東北大学)、舌津智之(立教大学)、柳朋宏(中部大学)の会長指名委員3氏となります。当委員会で作成されたガイドラインの原案は3月の理事会にて審議される予定です。

◎終身会員制度について

日本英文学会では2013年度より終身会員制度を始めております。「終身会員規程」は学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)「入会案内」欄より閲覧できますのでご覧ください。お問い合わせ、ならびにお申し込みは本

部事務局(ejimu2@elsj.org)にて受け付けております。

◎事務局開室時間

本部事務局事務室の開室時間は、以下のようになっています。

月曜日～水曜日、金曜日 11:00～16:00

上記以外の曜日・時間帯(特に土日、祝日や夏季休暇・冬季休暇)にいただいたお問い合わせへの返信は少しお時間をいただくこととなりますが、ご了承ください。

◎海外研究者招聘後援事業

英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しております。該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。応募する団体は、申請書類を電子メール添付にて本部事務局宛にお送りください。なお、同事業の応募規程、採択された事業の概要ならびに企画申請書は、学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)「リンク(他学会、助成金、各種募集)」欄より閲覧できます。

◎会員著書案内

英文学会では、本部事務局あてに会員から著書を献本いただいた場合、学会ウェブサイトにて著書紹介を出版から2年のあいだ掲載することができるようになっております。掲載対象となる著書は、英語圏文学・英語学・英語教育に関する会員独自の研究成果に限り、訳書や上記分野以外の著作等は対象外とさせていただきます。なお、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。ご希望の方は、次の情報を本部事務局(ejimu@elsj.org)までメールでお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概 1,200字程度
3. 目次

著書を出版された方は、どうぞふるってこの著書案内コーナーをご利用くださるようお願いいたします。会員の皆様におかれまして

は、学会ウェブサイト「会員著書案内」欄をぜひご覧ください。

【2023年度シェイクスピア祭のお知らせ】

2023年度シェイクスピア祭を、日本英文学会・日本シェイクスピア協会共催にて下記の通り開催します。今年度は慶應義塾大学日吉キャンパスで実施します。なお、両協会の会員にはウェビナー形式による同時配信も予定しております。キャンパス内会場についての詳細は、追って日本シェイクスピア協会ウェブサイト (<https://www.s-sj.org/>)にてご連絡いたします。また、やむなく開催形式が変更となる場合にも、同サイトにてご連絡いたします。

日時：2023年4月22日(土)13:00～16:40
場所：慶應義塾大学日吉キャンパス（詳細は日本シェイクスピア協会ウェブサイトにて案内）
開催方法：対面方式（日本英文学会・日本シェイクスピア協会会員にはウェビナー配信も予定）

プログラム：

- 13:00 開会の辞 篠崎実・日本シェイクスピア協会新会長(千葉大学教授)
- 13:10～14:40 講演
佐々木和貴氏(秋田大学名誉教授)
演題「挿絵から見た18世紀のシェイクスピア受容」
- 14:40～15:00 休憩
- 15:00～16:30 トーク
下館和巳氏(演出家・一般財団法人シェイクスピア・カンパニー理事長)
テーマ「Playing Shakespeare」
聞き手 今野史昭氏
(明治大学准教授)
ゲスト シェイクスピア・カンパニー俳優2名(予定)
- 16:30 閉会の辞 服部典之・日本英文学会会長(大阪大学名誉教授・関西外国語大学教授)

【大会準備委員会からのお知らせ】

◎第95回全国大会について

第95回大会はハイフレックス方式(対面およびZoomによるライブ配信)での開催となりました。詳細は日本英文学会ウェブサイト (<https://www.elsj.org>) およびメーリングリストにてお知らせします。

◎研究発表応募について

第95回大会の研究発表に応募された方々は、英文学14名、アメリカ文学7名、英語学6名の総勢27名でした(英語教育分野からのご応募はございませんでした)。ご応募いただきありがとうございます。前年度の32名(英文学18名、アメリカ文学5名、英語学8名、英語教育1名)からは減少いたしました。次回大会ではより多くの会員の方々からご応募いただけますことを期待しております。

大会準備委員会では、発表タイトルおよび発表要旨を含め、応募原稿に基づいて審査・銓衡を行っております。大会準備委員会より依頼・要請した場合を除き、応募後のタイトルの変更は原則としてご遠慮いただいております。また、タイトルは発表時の使用言語に合わせてご作成をいただき、やむを得ない理由でそれが不可能な場合はタイトル末尾に「(発表言語：～語)」を付記ください。発表応募の際には、これらの点をどうぞご理解いただきますよう、お願いいたします。

◎ハンドアウトのウェブサイト掲載

シンポジウムや研究発表の発表者の皆様のハンドアウトは、大会期間中、学会ウェブサイト (<https://www.elsj.org>) の全国大会ページにて掲載いたします(2023年5月末までの予定)。発表者・登壇者の方でご協力いただける方はハンドアウトのファイルを大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで大会1週間前を目処にお送りください。充実した大会にするために、大会発表者の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

◎紀要等展示室について

第95回大会においては「紀要等展示室」を一般会員控室に併設いたします。目的は、会員の皆様が紀要等を交換する場を設け、会員間の交流の機会を確保することにあります。展示可能なものは、ご自分の論文の掲載された紀要、学会機関誌、雑誌等、またはその抜き刷り、および書籍等です。会員の皆様の積極的なご参加を歓迎いたします。

展示をご希望の方は、当日、展示物をご準備のうえ、展示室に用意された机に、ご自分で展示ください。展示物の搬入、展示、回収は、すべてご自分の責任においてお願いいたします。開催校への展示物の送付は、保管等の責任を負いかねますのでご遠慮ください。また展示物の紛失等に関して、大会準備委員会、学会事務局および開催校は、一切の責任を負えません(抜き刷りなど「持ち帰り可」とされる場合、展示にあたってそのように明記していただけますと幸いです)。大会終了後も忘れ物として保管はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

◎特別研究発表候補の募集

大会準備委員会では特別研究発表の候補者に関するご提案を、以下の要領で公募しております。ご提案がある場合は、大会前年の8月31日までに大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで、以下の所定の書類をお送りください。

〈特別研究発表の(募集)要領〉

- (1)発表時間は1時間
- (2)資格は、海外の大学等で専任の職を持っていること
- (3)謝礼は2万円(税込み)。その他、国内に限った交通費(要領収書)
- (4)司会は原則として紹介者が行う

〈応募の必要書類〉

- (1)候補者の略歴、主要業績リスト
- (2)発表題目および発表要旨

採否の決定は、大会準備委員会が9月末日までに行い、決定次第ご提案者にご連絡差しあげます。

◎第96回大会(2024)ワークショップの応募開始

2024年に開催する第96回大会ワークショップの応募を開始しております。ワークショップはシンポジウムに準ずるもので、開催時間は当面、大会2日目午後の特別講演/シンポジウムの時間帯(2時間半程度)を予定しています。企画数の上限は当面3本程度とし、企画案は分野バランス等を考慮して大会準備委員会で選考いたします。

第96回大会分の応募締切は、2023年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)に掲載されている応募規程をよくお読みのうえ、同ウェブサイトよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。

会員のみなさまから新鮮な企画をご提案いただくことで、全国大会をより身近で興味深いものにできれば幸いです。会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

◎懇親会の開催について

懇親会につきましては関東学院大学関内キャンパス17階スカイラウンジにて、人数制限を含む感染拡大防止の対策を講じた上で開催予定ですが、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ変更する場合がございます。懇親会に関する情報は日本英文学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)およびメーリングリストにて後日お知らせいたします。

【編集委員会からのお知らせ】

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各1冊という刊行形態となっており、和文号、英文号それぞれに投稿の締切が設定されております。昨年9月の英文号の締切までには、22本の英文論文が寄せられ、うち8本が採用されました。本年4月1日投稿締切の和文号にも、多数の投稿があることを願っています。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』（和文号、英文号）に掲載された論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。昨年9月締切の英文号では、残念ながら「該当論文なし」となりました。

◎第46回新人賞論文募集

4月30日締切で、第46回新人賞論文を募集しています。新人賞論文には賞金10万円、佳作論文には賞金5万円が授与されます。応募対象者は、締切日時時点で満37歳未満または修士号取得後5年以内の会員です。該当する若手研究者の方々にはふるってご応募いただければ幸いです。堅実かつ野心的な論考を期待しております。応募される方は、学会ホームページ、あるいは『英文学研究』第99巻（和文号）掲載の応募規程をご確認ください。

◎アメリカ文学分野編集委員の増員について

近年、アメリカ文学分野の投稿論文数および新人賞応募論文数が著しく増加していることを受けて、2021年度より当分野の編集委員を1名増員し合計8名となりました。しかしながら、それ以降も依然としてアメリカ文学分野編集委員の負担が他分野に比して過重になっていることから、第3回編集委員会において、アメリカ文学分野の委員数を3名増員することが審議・承認され、1月に開催された臨時理事会にてこの増員措置が承認されました。なお、今後の改選委員数の均衡を考慮し、2023年度より2名、翌2024年度より1名を増員することになっております。

◎委員の交代

3月末日をもって片山亜紀、金澤俊吾、栗山智成、小町谷尚子、永富友海、難波江仁美、前田雅子、宮本敬子の各氏が任期満了によりご退任となります。長い間ありがとうございました。

任期満了でご退任される委員の後任には、石原剛（東京大学）、大谷直輝（東京外国語大学）、小田博宗（東京大学）、小林潤司（鹿児島国際大学）、高野泰志（九州大学）、垂井泰子（中央大学）、中和彩子（法政大学）、冬木ひろみ（早稲田大学）の8氏が選ばれました。また、

前項に記載したアメリカ文学分野編集委員の増員措置にともない、今回はさらに、結城正美（青山学院大学）、吉田恭子（立命館大学）の2氏も選出されております。任期は4月1日から3年です。どうぞよろしく願いいたします。

◎編集委員会顧問の交代

途中退任された長谷川信子編集委員会顧問に代わり、2022年9月に奥聡氏（北海道大学）が新たに着任されました。任期は途中交代のため、2024年3月までとなります。

【本部事務局からのお願い・ご報告】

◎会費納入と刊行物発送について

日本英文学会の2023年度会費は、例年通り、一般会員8,000円（本部会費7,000円＋支部会費1,000円、ただし複数支部に加入の場合は1支部ごとに1,000円追加）、学生会員5,000円（本部会費4,000円＋支部会費は一般会員に同じ）、協賛会員10,000円です。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メールなどで事務局（ejimu2@elsj.org）までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局（ゆうちょ銀行）に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メールなどで事務局（ejimu2@elsj.org）までご連絡ください。

なお、会費の振込手数料は、会員の皆様にご負担いただいております。どうかご了承ください。

◎全国大会の受付業務

全国大会の当日の受付業務は以下の時間と内容となります。なお、受付にて会費を納入いただくことはできませんので、ご注意ください。

※受付時間：5月20日(土) 12:00～16:00

5月21日(日) 9:30～11:30

1) 当日会員の受付

非会員の方々でも、当日会員費 1,000 円をお支払いいただければ、『大会資料』を受け取り、すべてのプログラムに参加できます。後日、一般会員もしくは学生会員として正規にご入会いただく場合には、当日会費の領収書があれば、当該年度会費から 1,000 円を差し引かせていただきます。

2) 郵便局自動払込み領収書の発行

郵便局自動払込みをご利用の方には、ご希望により受付にて領収書をお渡しいたします。ご希望は自動払い込み申込時に伺っておりますが、お忘れの方はメール (ejimu2@elsj.org) もしくは電話で、事務局までご連絡ください。すでにご希望をいただいている会員の方は、郵送費の経費削減のためにも、ぜひ受付にお立ち寄りください。

3) 変更届の受付

ご住所やご所属等に変更がある場合は、変更届をご提出ください。

4) 出張証明書の発行

ご所属の大学で公費出張をなさる場合の出張証明書を発行いたします。ご入用の方は受付にてお申し付けください。

◎入会・退会の手続きについて

入会・退会の手続きにつきましては、学会ウェブサイト (<https://www.elsj.org>) の「入会案内」欄にて詳しくお知らせしておりますので、そちらをご参照ください。以下、注意点を記しておきます。

《入会手続きについて》

入会手続きにつきましては、お申し込み内容に応じて、事務局より、郵便振替用紙もし

くは郵便局自動払込利用申込書のいずれかが、ご指定いただいた住所に送付されます。郵便振替用紙をお送りした場合は、会費をお振り込みいただいた時点で入会とし、また、郵便局自動払込利用申込書をお送りした場合には、これを事務局あてにご返送いただいた到着日をもって入会として扱います。研究発表への応募や論文の投稿などの資格も、これに準じて発生することになります。

《退会手続きについて》

会員は、退会するときは、退会届を提出しなければなりません。また、2年間にわたって会費を滞納した場合は、会員の資格を失うこととなります。つまり、退会届を提出しなければ、会費を納めなくても2年間は会員扱いになり、当学会の学術誌や刊行物の送付を継続いたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

退会のご意思をお持ちの場合には、速やかに、ウェブサイト (<https://www.elsj.org>) 上の「お問い合わせ」欄やメールで事務局 (ejimu2@elsj.org) までご連絡いただき、どの年度をもって退会とするかをご指示ください。なお、本部のみ、支部のみを退会することはできません。

◎学生会員の皆様へ

学生会員の皆様には事務局から以下の2点をお願いしております。

- 1) 毎年度4月末日までに学生証の写しを送付すること
- 2) ゆうちょ銀行自動払込みの申し込みをすること

すでに学生会員となっており、引き続き2023年度も学生会員の身分を継続希望の方は、4月末日までに、2023年度有効の学生証の写しを、メール添付PDFファイルにて、本部事務局 (ejimu2@elsj.org) 宛にお送りください。確認のうえ、2023年5月中旬に学生会員としての年会費を引き落とします(ゆう

ちよ銀行口座残高をご確認ください)。なお、上記2つの条件を満たさない場合、一般会員に身分変更するなどの措置をとらせていただくこととなりますので、ご注意ください。

また、身分に変更が生じた場合や、留学等で長期間海外に出られる場合などは、事務局(ejimu2@elsj.org)までその旨ご一報ください。

◎各種変更に関するお願い

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、身分、所属支部などに変更が生じた場合には、お手数ですが、事務局(ejimu2@elsj.org)まで速やかにご連絡ください。とりわけ、氏名と住所の変更は、会費の引き落としや刊行物の配送に支障をきたしますので、お早めにお知らせください。

◎夏季休暇中の事務連絡について

本部事務局は、7月26日より8月31日まで基本的に夏季休暇とさせていただきます。この間の学会へのご連絡は、回答までに日数がかかることもあります。あらかじめご了承ください。

◎次回のニューズレターについて

次回のニューズレターは、2023年9月中旬刊行予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)やメーリングリストにて告知いたします。

◎次期事務局構成

2023年度本部事務局は下記のメンバーで構成いたします。ただし、全国大会終了後の5月末までは現事務局が「主」、新事務局が「副」として業務にあたります。6月1日以降は、全面的に新事務局に移行します。

事務局長	田村 齊敏 (東京工業大学)異動
事務局長補佐	猪熊 恵子 (東京医科歯科大学)
会計補佐	津田 正(北烏山編集室)
オンライン補佐	永嶋 友

編集担当書記	(慶應義塾大学)留任 馬 渕 恵 里
大会準備書記	(関西外国語大学)留任 酒 井 祐 輔 (宮城学院女子大学)

新事務局は阿部公彦新会長のもと、英文学会が会員の皆様の優れた研究・教育の成果を発表することのできる場であり続けるため努めてまいります。今後とも、会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。なお、現事務局にこれまで賜りました多大なるご支援に、この場をお借りして篤く御礼申し上げます。

日本英文学会事務局

中村仁紀・田村齊敏・佗美真理・
永嶋友・馬渕恵里・奥畑豊